

市議会だより

もうすぐ会えるよ！



令和3年第4回定例会 (11月30日～12月21日)

瑞穂市中山道大月多目的広場条例が制定
新型コロナなどに対応した補正予算を可決

令和4年第1回臨時会 (1月31日)

市役所「係制」導入に伴う条例改正（継続審査）を可決
3回目ワクチン接種、前倒しに伴う追加補正

★Contents★

- 2 議案をチェック
- 6 懲罰特別委員会の報告
- 7 議案の審議結果
- 8 一般質問
- 14 お知らせ
- 15 委員会視察研修報告
- 16 4月3日(日)開園！
瑞穂市中山道大月多目的広場

12月
定例会上程された
議案

人事案件

4件

事件議決

1件

条例の制定

1件

条例の改正

7件

補正予算

4件

審議結果は
P7へ

まちづくり

瑞穂市中山道大月多目的広場の条例制定

令和4年4月1日、条例施行

現在整備中の瑞穂市中山道大月多目的広場の市条例が制定されました。オープン予定の令和4年4月に合わせ、条例が施行されます。

施行される条例には、広場での「行為の禁止」や「利用制限」、「使用料」、「損害賠償」などが規定されています。

【議案第68号 条例の制定】



活用について



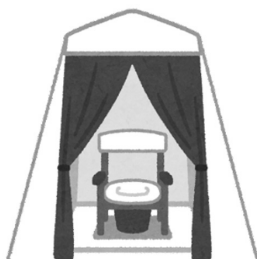
Q 条例の第1条で、地方創生に寄与するためとうたっているが、瑞穂市のランドマーク的な存在と位置づけて活用していくのか。

A 地方創生のメインは、人口減少対策として、人口の社会増加、移住定住促進に繋げていくことだと考える。そのためにも、この広場をどのように活用していくかというところがポイントになると考えている。

Q 市民の方に自由に使っていただけることを望むのか、ランドマーク的な存在で賑わいを創出していくことを中心とするのか。

A 公園的な要素を考えると、自由に使っていただけるよう、あまり占用してほしくないが、賑わいを創出するとなると、大規模なイベントを催して皆さんに来てもらいたい。できれば両立させるために、利用調整を行いたい。

災害時について



Q 災害時には、どのような位置づけになるのか。

A ドームシェルターにも、有事の際には避難できると考えている。また、巢南中学校の体育館が避難所として指定されており、物資も届くことを考えると、この広場で車中泊の可能性もある。そのため、マンホールトイレを7か所設置し、上に被せるテントも用意している。この広場を災害時の避難場所として指定するかどうか、検討している。

使用料について

競技会、展示会その他これらに類する催しを行う場合

芝生広場（1区画）	→ 1時間440円
遊具広場	→ 1時間440円
ゲートボール場（1コート）	→ 1時間220円
ドームシェルター	→ 1時間440円

くらし 未就学児の国民健康保険税を減免

国民健康保険税条例を改正

健康保険法等を改正する法律が公布されたことに伴い、市条例が改正されました。

今回の改正には、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国民健康保険に加入する家庭の未就学児に係る均等割額について、5割を公費負担により軽減する内容が盛り込まれています。

施行は、令和4年度からです。

【議案第72号 条例の改正】

Q 市独自の施策として、未就学児だけではなく、子育て支援策として高校卒業まで支援ができないか。

A 市単独での制度拡大については、国の制度のとおり、未就学までと考えており、年齢を引き上げることは考えていない。国の施策や、県全体として拡大方向であれば、実現の可能性はあると考えている。



行政 市役所、組織体制の変更に向けて

「係制」導入に伴い、条例を改正

市民の方に対して、分かりやすい組織体制を構築し、責任ある市役所業務を進めていくため、令和4年度から、これまでの「グループ制」から「係制」への変更を中心とした見直しを行い、さらなる行政サービスの向上を目指します。



各課における主要業務を「係」と位置づけ、「係長」が配置されます。

【議案第69号
条例の改正】

Q 今回の議案提出に至るまでの経緯は。

A 実際に検討に入ったのは令和2年度からであり、現在のグループ制における問題点や課題点について、総務課内で検討をし、県下の市町村の組織体制について調査を進めてきた。

現在の瑞穂市の組織体制で欠けているところについて、クリアすべき課題等を明確化し、組織の在り方について比較検討をして、係制導入に至る議論を行ってきた。

また、職員育成アドバイザーより、他市の組織体制の状況も聞きながら、瑞穂市における係制の骨子案の取りまとめを行った。

総務委員会が議案第69号を継続審査へ 引き続き審査していきます

理由

議案第69号の瑞穂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、令和4年4月1日から係制を導入するため条例改正を行うものであるが、その導入の必要性を十分に調査・検討する必要がある。

したがって、係制を導入することによる市民サービスの向上やその効果・利便性、また、執行部における事務の効率化など、幅広く慎重に審査する必要があるため、閉会中もなお継続審査を要する。



環境整備 下水道（瑞穂処理区）整備に向け、事業推進

公共下水道整備事業

今回の補正予算では、公共下水道施設整備事業の債務負担行為、下水処理場用地の土地購入費などが増額されました。

債務負担行為については、管路施設のDB一括発注に伴う事業者の公募と、処理施設の建設に伴う地方共同法人日本下水道事業団との協定を令和4年1月に予定しているため設定するものです。

【議案第77号 補正予算】



💡こんな討論がありました

今後の将来を含め、全体予算がどの程度になるか、はっきりしていない。今後付加的にかかってくることがあると考えると、今の時点では反対である。

Q 相当の額が増えていると思うが。

A 事業計画段階では、埋設物の工事や水洗化促進業務等が入っていなかったもので、これらを除外して考えてほしい。

Q 今回10億円を超える金額が増えており、今後どうなっていくか不安があるが。

A 不確定な部分もあるが、仮設費や安全費、材料費、人件費、工事の諸経費が増えている。しかし、これらの金額は、あくまでも基本設計に基づく概算工事費であり、詳細設計を行わないと金額は確定しない。

くらし マイナンバーカードの普及へ向けて

マイナポイントの予約・申込を支援

マイナポイント第2弾が、令和4年1月より実施されることになり、マイナンバーカード交付事務派遣業務及びマイキーID・マイナポイント支援業務に係る経費が補正予算に計上されました。

【議案第79号 補正予算】



Q マイナンバーカードの発行にあたり、1か月で2000人の来庁を見込んでいると聞いた。1日に換算すると、100人程来るのではないかなと思うが、どのように業務を行っていくのか。

A 市民課において、市民の方をご案内するため、1名配置する。速やかに申込作業が終了するように、その方に手伝いをしていただく。また、月に1度、休日も開庁する予定でいる。



◀穂積庁舎2階に特設ブースを設置して、マイナポイントの予約・申込の支援を行っています。

※詳しくは、市のホームページ等でご確認ください。

環境整備 公私連携型保育所などの整備に向けて

事業費を繰越明許費として 補正予算に計上

牛牧地区の公私連携型保育所、牛牧小学校駐車場整備に向けての用地購入費などが、繰越明許費として追加されました。

【議案第1号 補正予算】



※繰越明許費とは…

歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由により当該年度内に支出が終わらない見込みがあるものについて、翌年度に限り繰り越して使用するため、予算に計上します。

Q 来年度に予算を持ち越したいということだが、その経緯は。

A 6月議会で承認された測量調査業務において、土地家屋調査士に依頼したところ、購入予定地の一部に未処理の土地があると分かり、この処理について思いのほか時間を要したことや、境界立ち合いで日程が合わなかったことから、事業地の境界や面積などが確定されないため、測量設計業務が依頼できない状態であり、繰越をしなければならないと判断した。

1月 臨時会

上程された
議案

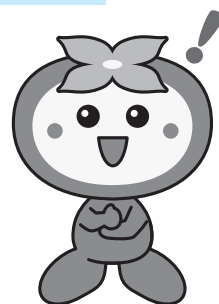
補正予算

1件

総務委員会 議案第69号 全会一致で可決し、審査終了 継続審査案件 市役所の組織体制、4月より「係制」へ移行

閉会中の継続審査となっていた「議案第69号 瑞穂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」の審議を行いました。総務委員長からの報告の後、質疑、討論、採決の結果、全会一致で可決しました。

4月より市役所は、これまでの「グループ制」から「係制」へ移行します。課内に「係」を新設することで、市民の問い合わせ先・相談窓口を明確化し、これまで以上に責任を持った職務の遂行を目指します。



Q 現状のグループ制では何が問題であり課題であったのか。

A 市民に対して問い合わせ先、相談先が分かりにくいという意見が多く寄せられていた。また一担当者に責任が集中してしまうことが多くあり、対応が難しい状況が多くみられた。

Q 多様化していく職員の仕事量に対して係制が本当にいいのか。

A 今の状況では、部下の体調や悩みごとの相談を課長一人では賄いきれていない。係制を導入して係長がリーダーになることによって、相談やOJTがよりきめ細やかに行えると考え、できるだけ早く導入したいと考える。

松野藤四郎議員に「戒告」の懲罰

令和3年第4回定例会の初日（11月30日）に、松野藤四郎議員に対して、懲罰動議が提出されました。
懲罰動議は、懲罰特別委員会の審査を経て、令和4年第1回臨時会で審議され、採決の結果、賛成多数で可決されました。
市議会は、松野藤四郎議員に対し、「戒告」の懲罰を科しました。

■懲罰が科されるまでの経過■

11月30日 議会定例会（初日）での発言

「議案第65号 瑞穂市農業委員会の委員の任命について（その1）」の一部の候補者に対する反対討論の中で、候補者に対し、松野藤四郎議員より「公文書違反、申請書の改ざん」などとの発言がなされる。

同日 懲罰動議の提出

地方自治法及び瑞穂市議会会議規則の規定に基づき、松野藤四郎議員に対する懲罰の動議が、3名の議員（馬淵ひろし 若園五朗 松野貴志）から議長に提出される。

同日 懲罰特別委員会の設置

本会議において「発議第9号 議員 松野藤四郎君に対する懲罰動議」について、自動設置された懲罰特別委員会に付託される。

懲罰特別委員会 委員長：若園五朗 副委員長：広瀬守克
委員：若井千尋、馬淵ひろし、森清一

12月14日、1月7日 懲罰特別委員会での審査

第1回（12月14日）

懲罰動議の内容の確認、関係法令等から懲罰の理由及び種類などの確認を行った。また、動議の発議者より、提出理由の説明を求め、動議の主旨や内容について説明があった。

弁明の機会については、松野藤四郎議員より弁明は行わないとの連絡を受けたことの報告があった。

委員からは、「本人の意見・考えを確認しなければならないのではないか」「この場での判断は難しいため、継続審査としてはどうか」などの意見があり、本件を閉会中の継続審査とし、次回の委員会に松野藤四郎議員に対し、出席を要求することになった。

なお、議長に提出した閉会中の継続審査の申し出は、定例会最終日に可決された。

第2回（1月7日）

出席を要求した松野藤四郎議員への質疑を行ったのち、懲罰を科すべきか否かについて、全委員の意見を確認した。

懲罰を科することに反対の討論では、「反省の弁もあり、本人には自戒の思いもあるのではないか」、賛成討論では、「本人からの謝罪は議員に時間を取らせてしまったことに対するものであり、今回の懲罰動議の主旨は理解されていないと感じ、認識を改めてもらう必要があるため、懲罰を科することに賛成」との意見があった。採決の結果、可否同数となったため、委員長裁決により可決とし、「懲罰事犯に該当し、懲罰を科す」とことと決定した。

懲罰処分の種類については、「公開の議場における戒告が妥当では」との意見が多く、採決の結果、戒告とすることに賛成多数で決定した。

委員会の結論：懲罰を科すこととし、懲罰を「公開の議場における戒告」とした。

1月31日 議会臨時会（委員長報告・採決）

懲罰特別委員会の委員長より審査報告がされ、採決の結果、賛成9名、反対7名で賛成多数となり、「戒告」の懲罰が科され、議場で松野藤四郎議員に対し、以下の戒告文を議長が読み上げた。

議員 松野藤四郎君は、11月30日の会議において、議案第65号 瑞穂市農業委員会の委員の任命について（その1）の一部の候補者に対する反対討論の中、議会規律に反して不穏当な言辞を用い、議会の品位を失墜させた。

このことは、議員の職分にかんがみ、まことに残念である。

したがって、地方自治法135条第1項第1号の規定により戒告する。

令和4年1月31日 瑞穂市議会



学校、穂積駅周辺等への「ゾーン30プラス」整備促進の考えは



都市整備部長

物理的デバイスの必要性を考慮した上で、地域住民の理解を得ながら進める事業と考える



森 清一議員

Q 通学路安全確保のためのソフト・ハード対策として、どのような取り組みがされたのか。

A 区画線の引き直し、カラー舗装化、T字マーク等の路面標示を進めている。また、令和元年から、交差点内の防護柵設置工事を58か所実施し、転落防止柵についても順次設置を行っている。

(都市整備部長)

A 危険箇所の改善を目的に通学路安全推進会議を実施し、対策を検討している。また、毎年、各学校で交通安全教育を実施し、本年度は回数を増やすなどして強化している。そして、青少年育成市民会議では、参加者に岐阜県交通安全協会発行の「安全誘導ブック」を配付した。

(教育長)

Q 生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の確保を目的とする「ゾーン30プラス」の整備に必要な要件と課題は。

A 要件は、最高速度時速30kmの規制の実施または予定されていること、

警察と道路管理者、地域関係者等の間で物理的デバイスの設置を適切に検討され実施または予定されていることである。デバイスの設置場所が決定しないことや設置後に車両通行時の振動や騒音の発生で近隣住民とトラブルになることが課題と考える。

(都市整備部長)



側溝・水路清掃の軽減化
Q 側溝・水路清掃の現状と軽減対策は。

A 事前に申請が必要だが、側溝蓋上げ機の貸出やダンプへの積み込み、運搬作業の手配を市で行っている。また、側溝蓋が標準より大きい箇所等には、グレーチングの増設や、既存水路の複断面化と泥ためピットの設置で、汚泥の堆積予防や清掃作業の軽減を図っている。

(都市整備部長)



SDGs『誰一人取り残さない』を考慮した支援学級等への考えは



教育長

一人一人の教育的ニーズを理解した特別支援教育の重点化に取り組んでいる



庄田昭人議員

Q 今後の支援学級の教室不足への対応や支援員の必要性についての考えは。

A 教室不足については、教育支援委員会を定期的に開催して、次年度特別支援学級に入級されるお子さんの数を把握し、増加の可能性がある場合は教室の配置を検討している。支援員については、特別な支援が必要なお子さんの人数等を把握後、増員が必要であれば予算化し、実態に基づいて毎年見直しを図っている。

(教育長)



Q 支援教室でのタブレットの導入効果は。

A 1つ目は、学習意欲の向上、成就感の高まり。2つ目は、情報活用能力の育成。3つ目は、デジタル教科書を活用した障害による学習上、生活上の困難さに応じた支援に効果が出てきている。今後も、子供たちの

実態に応じた適切なタブレットの活用方法を工夫しながら教育的効果を高めたい。

(教育長)

指定金融機関

Q 実態調査で、各銀行からどのような連絡・要望があり、現在どのように進んでいるのか。

A 令和6年4月まで指定金は大垣共立銀行で、その次は募集して議案とすることになっている。大垣共立銀行からは、両庁舎へ派出所窓口業務として無償で合計3名が派遣されている。しかし、国が金融機関にデジタル化を進めているため、財政面から地方自治体と経費の見直しをするようにとの指摘があり、令和4年4月1日から窓口業務を有償にとの要望が出ている。

(会計管理者)

Q 今後、市の負担はどのようになるのか。

A 派出所の人員費相当額の支払いは、市の負担となるが、デジタル化を進める上でも理解できるものと考え検討中である。

(会計管理者)



中山道大月多目的広場の年間利用者数の見込みは



教育委員会事務局長

希望を含め、年間15万人を見込みたい



松野貴志議員

Q 多くの利用者が見込まれるが、交通アクセスについての計画は。

A 公共交通を利用の際は、南側駐車場付近に「大月」バス停がある。自家用車が主と考えると、イベント等の際には、周辺の公共施設駐車場の活用を考えている。また、来年度は、美江寺宿からこの広場を経由して小簾紅園へと至る中山道沿線を一体として、賑わいを創出する構想の策定を検討している。自転車・レンタサイクルなどを利用した散策・観光ルートを提案していくなど魅力向上を図ってきたい。

(企画部長)

Q 駅周辺の広場空間の創出について、具体的な計画案は。

A 駅前広場内に憩い・賑わいの場として、フレキシブルゾーンを配置し、目的に合わせ、レイアウトを組み合わせながら、各種イベント等を企画される市民の方が様々な用途に活用できる空間を創出していきたい。ま



▲4月開園の中山道大月多目的広場

(都市整備部長)

た、土地区画整理事業にて計画された公園・緑地等についても、駅前広場で創出される空間等との連携を図り、地域住民や駅利用者の双方にとつて快適で使いやすく、景観創出や活性化に寄与する空間づくりを推進していきたい。

(調整監)

Q 多様化するレクリエーションの需要を見据えた施設を備えることについて、市の見解は。

A スケートボードやバーベキューなどを行う場の提供は、他の利用者との安全性などで、分離した場所を確保する必要がある。街区公園ではなく、ある程度面積が確保された地区公園となるさい川さくら公園などの整備等で設置ができないか考えたい。



瑞穂市のカーボンニュートラル政策について



環境水道部長

再生エネルギーの利用促進や市民への啓発活動を行いゼロカーボンシティを目指したい



若原達夫議員

Q 学校施設、公共施設の太陽光発電の設置状況は。

A 現在、太陽光発電が設置されている学校は、本田・牛牧・南小学校、穂積・穂積北・巣南中学校の合計6校である。

(教育委員会事務局長)

Q 小中学校の照明器具のLED化について。

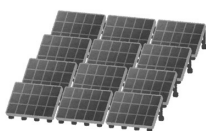
A 現在のLED化の状況は、本田小学校は、完了。南小学校は、校舎のみで、体育館は今年度設置予定。牛牧小学校は、北舎東館の1・2階のみ。穂積中学校は、体育館のみ。図書館は、令和元年度から4期に分けて設置となっている。未整備の学校や教室は、大規模改修や教室改修時に更新を検討している。体育館は、電灯交換時に順次LEDに更新している。

(教育委員会事務局長)

Q 市長のエネルギー政策は。

A 瑞穂市にはバイオマス発電があり、市内全電力を賄いきれる能力がある。また大小の太陽光発電もある。これらで、市内の新電力の地産地消のような仕組みが構築できないかと考えている。それにより瑞穂市が2050年のカーボンニュートラルに向けて理想的な形が整うのではないかと、ゼロカーボンシティ宣言瑞穂にも中身のある宣言ができるのではないかと考える。

(市長)



(仮称)中山道大月多目的広場
Q 案内看板について。

A 県道菅井中島美江寺大垣線から公園はわかりづらいため案内看板の設置の必要性を感じている。図書館分館等を含めたわかりやすい看板を新年度以降設置していきたい。

(教育委員会事務局長)



市街化調整区域における工業系市街化開発を検討してはどうか



市長

交通の要衝という利点を生かし、国道・県道沿いの調整区域に地区計画ができるか検討したい



広瀬守克議員

Q 現状の取り組みは。

A 工業系については、令和3年4月より、工場や事務所等の施設用地であれば農振除外が可能となる区域を新たに指定した。この区域について多数の事業者から問い合わせがある。商業系については、市は直接関わっていないが、国道沿いで大型店舗の進出が計画されていると聞いている。

(都市整備部長)

Q 瑞穂市と近隣市町を繋ぐ道路整備について市の見解は。

A 主要地方道岐阜・巣南・大野線がさらに西進して整備が進むと、大野神戸インターチェンジへのアクセスはより一層強固なものになる。そのためにも、早期開通が最優先事項として今後も県と協力体制を取り、進めていきたい。

(都市整備部長)

投票率向上に向けて

Q 選挙広報活動の効果

は。

A 新たな取り組みとして、小中学生から募集し



た選挙啓発ポスターを利用し、駅前広場やワクチン接種会場などで動画を流した。また、瑞穂市オリジナルのチラシを作成し、保育所や幼稚園、小中学校の保護者へ配付し、若い世代への啓発を意識した。効果はなかなかはっきりと表れないが、明るい選挙推進協議会と連携し、継続した啓発活動を実施している。

(総務部長)

Q 投票所・年代別の投票率の分析は。

A 投票率の高い投票区は60代以上の高齢者世代の割合が高く、投票率が低い投票区では30代以下の若い世代の割合が高い構成となっている。各投票区における年齢構成が投票率に顕著に表れている。

(総務部長)



牛牧排水機場周辺整備の進捗状況は



調整監

今年度は排水機場の上屋工事、牛牧樋門及び牛牧排水樋門のゲート設置を進めている



若園五朗議員

Q 今後のスケジュールは。

A 排水機場については機械設備の据付け工事、牛牧樋門及び牛牧排水樋門については上屋工事に取掛かる予定だと聞いている。

(調整監)



▲牛牧樋門と牛牧排水樋門の進捗

新型コロナウイルスワクチン接種

Q 3回目となるコロナウイルスワクチン接種の体制は。

A 一般の高齢者の方については個別接種と集団接種の併用で進め、2月にはおおむね接種が完了できるよう調整している。64歳以下の方については2回目の接種完了日により順次接種券を発送し、3月中旬に接種が始まるよう調整している。追加接種については、ファイザー社製のワクチンと武田モデルナ社製のワクチンの交互接種が認められており、国の

接種方針やワクチンの安全性など、事前に市民の方に丁寧な説明をしていく必要があると考えている。

(健康福祉部長)

庁舎内各部署に係制の導入

Q 係制導入の具体的な計画は。

A 12月下旬に係制導入に関する職員説明会を実施する。年明けからは市民の方に向けて、これまでよりも分かりやすい市役所業務となる旨を周知すべく、広報やホームページで情報を発信していく。

(総務部長)

市民の健康維持増進と地域活性化のためのゲートゴルフ推進

Q 軽スポーツ人口を増やすために今後どのような推進、指導していくか。

A 瑞穂市オリジナルの軽スポーツであるゲートゴルフについて、各地域・各自治会、出前講座、行事・大会による展開をしていく。現在はコロナ禍のため休止しているが、再開の準備を進めていく。

(教育委員会事務局長)



高齢者タクシー利用助成制度の条件緩和、交付枚数増など改善策は



健康福祉部長

昨年10月から見直しを行い要件を緩和した。しばらくはこのまま進捗状況を見て続けていく

関谷守彦議員



Q 認知症予防に「補聴器助成制度」を導入してはどうか。

A 国や県の動向、他市町状況、実績やニーズなどを参考にしながら老人福祉計画等で検討をしていきたい。

(健康福祉部長)



中山道の安全確保

Q 利便性と安全確保のため、中山道をカラー舗装してはどうか。

A 中山道をシンボルロードとしてカラー舗装化することは、散策を楽しむ方々にルートがわかりやすくなり有効であると思われるが、全線のカラー舗装は事業費が高額となることや、路線の一部が岐阜県管理の道路と重複していることがあり、現在のところ計画はない。既存の舗装補修や区画線の設置により安全確保に努めていく。

(都市整備部長)

学校での生理用品の配布

Q 生理の貧困対策として、小中学校の女子トイレに生理用品を設置してはどうか。

A まずは試験的に市内の小中学校1校ずつトイレに常備する方法で運用していく。運用の結果によって、成果や課題を基に今後どのようにするか考えていく。(教育長)

学校給食費等の負担軽減

Q 第2子半額、第3子以降全額免除の支援策が必要ではないか。

A 負担の給食費に対し、係る費用はおおよそ1.9倍である。また、今後給食センターの施設や設備の更新等でこれまでに以上に費用がかかる。このような中、生活保護法に規定されている要保者に準ずる程度に困窮していることを認められている方や新型コロナウイルス感染症の影響を受け経済的に厳しい状況にある世帯など、本当に必要な世帯に援助を行っている(教育委員会事務局)



タブレット端末を活用した、「いじめSOS」把握方法の検討は



総務部長

タブレット端末からすぐに相談できる環境を周知することから検討を始める

藤橋直樹議員



Q 教育委員会におけるいじめ問題の未然防止に対する取り組みは。

A 今後はSNS等のトラブルが予想されるため、いじめ問題対策連絡協議会において情報モラル教育について協議をしている。また、教育相談の充実、関係機関との連携強化ができる体制づくりにも力を入れている。

ほかにQ・U検査※を実施し、学級の集団・子供たちの実態を客観的に把握できるようにしている。(教育長)

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

Q 学校の働き方改革を踏まえた部活動の今後

A 地域部活動の在り方に関して必要な事項に基づいて協議、検討する瑞穂市地域部活動検討委員会の第1回会合を開催し、市内中学校の部活動の実態や地域のスポーツクラブ等への参加状況などを交流した。今後の計画は、令和4年度中に部活動を地域へ移行する具

体的な方策や運用の仕組みの構築を行う予定である。そして令和5年度の4月から休日の部活動を地域に順次移行していくことができるように検討する。(教育長)



学校施設の点検・見直し

Q 学校施設の点検・見直しや子供たちの活動に伴う近隣住民との問題の把握と対応は。

A 住民から連絡があった際は現場確認の上、関係団体に伝えたり、施設に貼り紙や看板などを設置して注意喚起を行い、改善を図っている。学校体育施設のどのような部分を改善し、整えていかなければならないか、今後十分検討していく。(教育委員会事務局)

※学校生活における生徒個々の意欲や満足度及び学級集団の状態を測定する検査



保育所の今後の運営方針は、保育所は公私連携型に移行するのか



教育委員会事務局長

保育所整備計画から未満児保育の解消・校区のつながりのため、まず生津小校区までの公私連携を考えている



松野藤四郎議員

Q 保育所のない生津小校区への新設時期について。

A 生津小学校区では、保育施設の誘致について進めている。今は場所の選定など検討している。今後は令和8年度または9年度には開園ができるように進めていきたい。

(教育委員会事務局長)

Q 希望する保育所に入園できなかった方に対する支援は。また、緊急措置として保育士の増、借園舎、公共施設の一部を使用するなどの検討は。

A 内定通知後の相談について、事情を聞き、案内できる施設を可能な限り提案している。緊急措置について、今年は小規模保育施設を1件誘致でき、10月に開園した。今後もニーズの高い場所への誘致に努めていきたい。

(教育委員会事務局長)

Q 「ほづみの森こども園」は保育に特徴があり入所希望者が多い。定員増の動きは。

A ほづみの森こども園

には、年々希望者が増加している状況を施設に伝え、利用定員の増加を検討していただいている。

ほづみの森こども園からは、安定した施設運営を図るために、継続して需要があれば増加を検討したいと伺っているため、今後も申込状況等を共有しながら適切な利用定員の設定に努めていく。

(教育委員会事務局長)



▲ほづみの森こども園

調整区域における住宅建設
Q 市街化調整区域には原則住宅建築ができないが答弁ではケースバイケースといっているがその特例とは何か。

A ケース・バイ・ケースというものは、それぞれの場所によって道路の幅員や形態が違うため、一律にいい悪いという判断ができない。具体的な計画を立て、市のほうへ事前確認をしていただきたい。(都市整備部長)



農振農用地から農振除外申請受付を年1回から2回へ変更の考えは



都市整備部長

岐阜県との調整が必要なため、本市の状況を説明し今後協議を行っていきたい



杉原克巳議員

Q 令和元年に市内7カ所を工場誘致適地に指定したが、この3年間の誘致実績は。

A 市が把握しているものは13件ある。地域別では、十七条、十八条、美江寺地域で5件。牛牧、野田新田地区で6件。稲里地区で1件。馬場春雨町地区で1件である。

(都市整備部長)

Q 7カ所の見直しと併せて、高速道路の近隣地である七崎地域を新たに候補地として要望したいと思うがどうか。

A 今後、南部の調整区域についても頭に入れないが考えていく必要があると考える。

(都市整備部長)



▲七崎地域

Q 市長の工場誘致政策

は。

A 企業誘致については、市街化調整区域、農

振区域などや、国道・県道など今の市内の状況にに応じて農業を振興する区域と企業を誘致する適地を区分したまちづくりを考えていかなければならない。民間の力や専門的な知識や経験のある会計年度任用職員などを採用できればさらに企業誘致も進んでいくのではないかと考える。

(市長)

富有柿栽培の将来と支援
Q 気候変動、栽培離れなどの環境変化に対し、今後の行政支援策は。

A 県農林事務所によると、気候変動に耐え得る富有柿を育てるためには、縮伐、間伐、防除など健全な栽培環境を徹底することが大切であるとのこと。行政としては、柿振興会が実施する栽培研修を今後も支援していく。また、新たな品種の導入を検討していただくことや、すなみ柿をふるさと納税の返礼品として取り入れることなども検討しながら生産者を支援していきたい。

(都市整備部長)



教育現場における来年度の読書推進は



教育長

市の「ビブリオバトル大会」を、市PTA 連合会と協働して企画したいと考えている



今木啓一郎議員

Q 新型コロナ対策として、小中学生らに図書カードを配付したが、その見届けと効果は。

A 小中学生、未就学児の保護者に、アンケートを実施した。途中集計ではあるが、約63%の方が「この機会に読書時間は増えた」と回答した。

また小中学生には、本を紹介する課題を出し、各学校で実施していただいた。ビブリオバトルについては、中学校や小学校高学年で実施したと報告をいただいた。これらを踏まえ、今回の図書カード配布事業は、効果があつたと捉えている。

（教育長）
【ビブリオバトル】
本を通して人を知る
人を通して本を知る



Q 「電子書籍」を市立図書館や学校図書館で導入する考えは。

A 本を手にし、読書するすばらしさも大切にしたいと考え、市として

は、現行の読書の在り方と電子書籍による読書の双方について、十分な検討を踏まえ、導入について進めていきたい。

（教育長）

流域治水と排水機場

Q 排水機場内の環境改善について、市の見解は。

A 現在、各排水機場に設置しているアナログテレビをデジタルテレビに買い替え、数時間後の雨雲などにより雨量を予測しながら、排水ポンプの操作に対応してもらえよう整備したいと考えている。

（都市整備部長）

Q 下水道整備事業に付随する雨水対策補助事業により市管理の排水機場の整備は可能か。

A 市管理の排水機場は、市街化区域を受け持つため、公共下水道の雨水ポンプ場として位置づけ、公共下水道基準に合った新たなポンプ場の建設を国庫補助事業として行うことが可能である。

（環境水道部長）



SDGsの考えを市政の真ん中にと掲げた瑞穂市ジェンダー問題の現状は



企画部長

SDGs研修を継続し、誰一人取り残さない施策を立てることができる職員の育成が重要であるとする



若井千尋議員

Q JR穂積駅のトイレは男性用・女性用の表示がわかりにくくなっており、女性にとつて使いづらい状況ではないかと考える。

A ピクトサインの色が薄くなっている・1つの箇所に男女の表示があることで分かりづらくなっていた。確認しやすいように補修を行う。

（都市整備部長）

Q SDGsの目標達成について、その中心に「誰一人取り残さない」という考えがあるが、その根底となるもので最も大切なものは何だと考えられるか。

A 人としての尊厳、人を尊重することだと考える。広い分野での人権について、人権宣言のようなものを市で打ち出せるよう計画していきたい。

（市長）

その他の質問
・ジェンダー（社会的・文化的性差）平等について



Q 公職選挙法の改正
市区町村議会選挙に

おいて、現在当市はどの範囲までが任意制選挙公営制度の活用が可能か。
A 任意性の選挙公営制度になっているものうち、ポスター掲示場の設置と選挙公報の発行を条例で定めて実施しており、選挙運動用自動車の使用、ポスター・ビラの作成に係る経費の負担は対象外としている。

（総務部長）

行政組織内の連携
Q 防災や市のPR、福祉分野も含み、市民サービス向上の為に庁舎内の連携は。

A 防災・市のPRなど、市を挙げて対応が必要なのは職員が一丸となり連携して業務を進めている。今年度からは福祉関係で効率的な連携・強化を図るため子育てワンストップサービスを実施している。

（総務部長）

その他の質問
・ジェンダー（社会的・文化的性差）平等について

その他の質問
・ジェンダー（社会的・文化的性差）平等について



3回目のコロナワクチン接種の計画は



健康福祉部長

高齢者の方は2月中に概ね完了、64歳以下の方は3月中に開始できるよう、調整を進めている



森 健治議員

Q 3回目の接種は、前回と同じ種類を接種できるのか。また、対象者は18歳以上か。

A 供給量に限りがあり、希望するワクチンがすぐに接種できないことが想定されている。接種対象者は、18歳以上の方となる。

（健康福祉部長）

Q ワクチンの交互接種について、市の考えは。

A ファイザー社製、武田/モデルナ社製、いずれも国で安全性や有効性を考慮され承認されており、市は、早い段階から国の方針やワクチンの安全性について丁寧に説明することが重要と考える。

（健康福祉部長）

Q 本人の意思、健康上の理由等で、ワクチン未接種の方へのPCR検査についての考えは。

A ワクチン・検査パッケージが必要となるPCR検査等を無料で受けられる環境について、現在県内各地で整備されており、12月下旬から検査受付が開始される予定と聞

いている。この制度などを活用することで、未接種の方への対応をしたい。

（健康福祉部長）

朝日大学との「まちづくり連携」

Q 大学周辺において、地区の課題や特徴を踏まえた上で将来像を設定し、実現に向けたまちづくりを連携して進める考えは。

A 朝日大学は、病院や防災拠点等で地域に密着し、スポーツ振興にも寄与するなど大きな役割を果たす施設であり、大学の成長は、市の発展に大きく貢献するものと確信している。敷地南側は、市街化調整区域であり、新たな土地利用を行う場合、農地転用や地区計画策定などの制約があるが、今後、将来を見据えたよりよい土地利用を情報交換しながら、連携を図っていきたい。

（都市整備部長）



議会活動日誌

11月

- 1日 もとす広域連合議会定例会（一般質問・最終日）
- 2日 令和3年第3回瑞穂市議会臨時会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 4～5日 市町村議会議員研修
- 8日 議会広報編集委員会
- 15日 全国市議会議長会地方行政委員会
- 16日 産業建設委員会行政視察（可児市）
- 19日 総務委員会行政視察（羽島市）
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
- 26日 議員研修会
- 30日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（初日）
会派別議案説明会

12月

- 1日 会派別議案説明会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（総括質疑）
- 9日 産業建設委員会・協議会
- 10日 文教厚生委員会・協議会
- 13日 総務委員会・協議会
- 14日 懲罰特別委員会

- 15日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（一般質問）
- 16日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（一般質問）
議会運営委員会
- 17日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（一般質問）
議会運営委員会
- 21日 令和3年第4回瑞穂市議会定例会（最終日）
全員協議会
議会広報編集委員会

1月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 総務委員会・協議会
懲罰特別委員会
- 13～14日 市町村議会議員研修
- 21日 意見交換・情報発信検討部会
- 24日 議会広報編集委員会
総務委員会
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
- 31日 令和4年第1回瑞穂市議会臨時会
全員協議会
研修・予算決算検討部会
産業建設委員会協議会

視 察 研 修 レ ポ ー ト

産業建設委員会

視察先：可児市

研修日：令和3年11月16日

テーマ：駅前開発について 産業振興について

可児市では、平成10年から23年かけJR可児駅・名鉄新可児駅東側の区画整理事業が、総事業費90億円で行われました。可児川からの浸水に悩んでいた地域で、県の「ふるさとの川整備事業」を契機に区画整理事業が進みました。特徴的な点は、自治会単位やより細かい単位での説明会が行われたこと、権利者主体の協議会と、駅利用者と学識経験者からなる委員会がそれぞれ立ち上がり、双方が連携してまちづくりの方針を決定してきたことが挙げられます。また、子育て支援機能と健康づくりや多世代交流を創出する拠点施設も設けられました。



▲現地視察（JR可児駅・名鉄新可児駅前）

委員長：松野藤四郎

副委員長：森健治

委員：杉原克巳 今木啓一郎

関谷守彦 若原達夫

総務委員会

視察先：羽島市

研修日：令和3年11月19日

テーマ：新庁舎建設について 防災について

令和3年11月に開庁した羽島市新庁舎内は、市民の方が利用される窓口を集約した配置で、総合窓口機能を持たせたユニバーサル対応の案内サインにより視認性も良く、快適な空間づくりがされていました。また、免震構造を採用し、非常用発電設備等のライフライン対策や別棟の情報・防災庁舎と連携して、防災拠点の機能を併せ持った建物となっていました。

隣接の情報・防災庁舎は、災害時には対策本部が設置できる会議室があり、国・県からの河川情報が得られるシステムが構築され、迅速に災害対応できる施設となっていました。

これからのまちづくりを見据え、ますます多様化する行政サービスを適切に提供できる環境整備に向けて、当市の新庁舎建設計画が進むことを期待します。



▲現地視察（別棟の情報・防災庁舎）

委員長：若園五朗

副委員長：棚橋敏明

委員：広瀬武雄 庄田昭人

藤橋直樹

4月3日(日)開園！ 瑞穂市中山道大月多目的広場

令和元年度より工事を行ってきた瑞穂市中山道大月多目的広場が、まもなくオープンします。
“いつでもだれでも利用できる芝生を中心とした広場”をコンセプトに、たくさんの人に利用していただける広場を目指しています。



▲遊具広場



▲ドームシェルター



▲駐車場

遊具広場には、幅広い年代に対応した遊具を設置しています。また、ドームシェルターのおかげで天候に左右されず活動ができます。北側と南側にある駐車場には、合計157台（うち車椅子等用駐車スペース20台）が駐車可能です。



▲健康遊具



▲ゲートボール場



▲芝張りボランティアの様子

健康増進のため、健康遊具の設置やゲートボール場、ウォーキングコースが整備されています。
芝生広場の整備の際には総勢244名のボランティアの方に参加していただき、無事に完成することができました。

令和4年第1回定例会日程（予定）

2月・3月

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25	26
				本会議（初日・議案提案説明）		
27	28	3/1	2	3	4	5
					本会議（総括質疑・委員会付託）	
6	7	8	9	10	11	12
		産業建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会	委員会予備日	
13	14	15	16	17	18	19
	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問予備日）		本会議（最終日・委員長報告・質疑・討論・採決）	
20	21	22	23	24	25	26

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

議会映像配信について

瑞穂市議会では、令和3年第4回定例会からYouTubeで議会映像配信の試行を始めました。第4回定例会では一般質問（12/15～12/17）のライブ配信を行い、現在はYouTube上で視聴することができます。視聴可能期間は会議録が出来上がるまでとなります。瑞穂市ホームページ（<https://www.city.mizuho.lg.jp/12119.htm>）にYouTube「瑞穂市議会」チャンネルへのリンクとチャンネル運用方針を記載しています。

